

平成18年度 岐阜県高等学校新人バスケットボール大会  
兼 東海高等学校新人バスケットボール大会県予選会  
大会第2日:平成19年2月3日(土)  
会場:岐阜メモリアルセンターふれ愛ドーム・で愛ドーム

## 男子の部

< 審判 >

Aブロック決勝	岐阜農林	93	$\begin{bmatrix} 19 - 14 \\ 23 - 20 \\ 29 - 6 \\ 22 - 25 \end{bmatrix}$	65	大垣商	小森邦弘・早野宏樹
Bブロック決勝	斐太	61	$\begin{bmatrix} 4 - 20 \\ 19 - 15 \\ 21 - 15 \\ 17 - 9 \end{bmatrix}$	59	長良	室谷伸治・宮崎泰彦
Cブロック決勝	岐阜総合	103	$\begin{bmatrix} 27 - 13 \\ 24 - 16 \\ 16 - 16 \\ 36 - 20 \end{bmatrix}$	65	中京	小池匡弥・長屋 貴
Dブロック決勝	大垣南	85	$\begin{bmatrix} 23 - 15 \\ 25 - 10 \\ 7 - 28 \\ 30 - 27 \end{bmatrix}$	80	美濃加茂	小牧秀則・西尾 司
5位決定予備戦	大垣商	88	$\begin{bmatrix} 25 - 18 \\ 11 - 23 \\ 19 - 18 \\ 33 - 17 \end{bmatrix}$	76	長良	三浦 潔・岩永英夫
5位決定予備戦	中京	101	$\begin{bmatrix} 31 - 33 \\ 20 - 19 \\ 22 - 22 \\ 28 - 19 \end{bmatrix}$	93	美濃加茂	相宮俊郎・細井恒樹
決勝リーグ	岐阜農林	78	$\begin{bmatrix} 25 - 6 \\ 22 - 21 \\ 25 - 12 \\ 6 - 18 \end{bmatrix}$	57	斐太	松野瑞穂・棚橋英一

両チームともマンツーマンディフェンスでスタートする。第1ピリオド、岐阜農林は 木村、伊藤の連続得点で波に乗ると、激しいディフェンスで相手のミスを誘って一気に19点のリードを奪い、第1ピリオドを終える。第2ピリオドは岐阜農林が 加藤、木村らがシュートを決めれば、斐太も 水谷、洞口のそれぞれ2本の3点シュートで応戦し、互角の戦いとなる。前半は岐阜農林が47-27と20点リードして折り返す。

第3ピリオドに入ると、岐阜農林は 小栗の3点シュート、小椋のシュートなどでさらにリードを広げる。第4ピリオドでは相手の反撃を受けるも、前半のリードを守りきり岐阜農林が78-57で勝利し、決勝リーグの1勝目をあげた。斐太も第4ピリオドには 水谷の3点シュートや 高井の連続得点で反撃するも、最後まで相手のディフェンスを崩せなかった。(三浦広和)

決勝 リーグ	岐阜総合	121	$\begin{bmatrix} 38 - 14 \\ 31 - 21 \\ 26 - 10 \\ 26 - 5 \end{bmatrix}$	50	大垣南	山田祐治・角平和優
-----------	------	-----	---	----	-----	-----------

岐阜総合は、第1ピリオドから激しいマンツーマンディフェンスでボールを奪うと速攻に走り、田代、長尾、桐山らが次々にシュートを決める。第1ピリオドで岐阜総合が38-14と一気に差をつける。第2ピリオドに入っても岐阜総合の勢いは衰えず、横道、田代らがシュートを決める。大垣南もハーフのセットプレーでオフェンスを立て直し、大橋のゴール下シュートや、飯沼の3点シュートで反撃する。前半は、岐阜総合が69-35でリードを奪う。

後半に入っても岐阜総合の勢いは続き、伊藤のポストプレー、寺井、上村の速攻、岡島のミドルシュートなど攻撃の手を緩めず、さらに点差を広げ、最後はスピード高さとも上回る岐阜総合が、121-50で大垣南を下し、決勝リーグ1勝目をあげた。大垣南も飯沼、奥田の3点シュートなどで反撃するも、最後は力尽きた。(岩井憲司)

## 女子の部

<審判>

Aブロック 決勝	岐阜女子	153	$\begin{bmatrix} 44 - 4 \\ 37 - 7 \\ 32 - 12 \\ 40 - 6 \end{bmatrix}$	29	関商工	神山元秀・広瀬鮎美
-------------	------	-----	---	----	-----	-----------

Bブロック 決勝	岐阜総合	71	$\begin{bmatrix} 16 - 14 \\ 17 - 15 \\ 20 - 12 \\ 18 - 13 \end{bmatrix}$	54	加茂	野原徹二・杉山秀謙
-------------	------	----	--	----	----	-----------

Cブロック 決勝	高山西	74	$\begin{bmatrix} 20 - 21 \\ 9 - 17 \\ 24 - 13 \\ 21 - 10 \end{bmatrix}$	61	多治見西	小泉純子・古田憲司
-------------	-----	----	---	----	------	-----------

Dブロック 決勝	岐阜県岐阜商	92	$\begin{bmatrix} 33 - 14 \\ 16 - 13 \\ 22 - 13 \\ 21 - 11 \end{bmatrix}$	51	長良	津田健介・三宅浩平
-------------	--------	----	--	----	----	-----------

5位決定 予備戦	加茂	76	$\begin{bmatrix} 14 - 12 \\ 22 - 10 \\ 30 - 13 \\ 10 - 17 \end{bmatrix}$	52	関商工	後藤慎二・大豆村斉
-------------	----	----	--	----	-----	-----------

5位決定 予備戦	多治見西	81	$\begin{bmatrix} 23 - 15 \\ 26 - 17 \\ 14 - 17 \\ 18 - 15 \end{bmatrix}$	64	長良	増田博徳・米田康
-------------	------	----	--	----	----	----------

決勝  
リーグ 岐阜女子 124  $\left[ \begin{array}{l} 32 - 7 \\ 40 - 7 \\ 19 - 22 \\ 33 - 12 \end{array} \right]$  48 岐阜総合 菅野 浩・赤石恵美子

両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。前半、岐阜女子は前線からの激しいディフェンスで相手のミスを誘い、伊藤の速攻、汪のポストプレー、水谷の3点シュートなどで次々と得点をあげていく。岐阜総合は馬淵のゴール下、酒井のドライブで攻めるが、思うように得点があげられない。岐阜女子はディフェンスの手を緩めず、宮部、茅谷の得点などでさらに点差を広げ、前半を72-14と大量リードで折り返した。

第3ピリオドに入ると、岐阜総合はディフェンスにリズムが戻り、リバウンドを取って攻撃につなげる。そして前田の早いパスワークから嶋内のジャンプシュート、馬淵のゴール下シュートで得点をあげる。さらに相手のファウルから得たフリースローも確実に決めていく。しかし、岐阜女子はスピードのある攻撃から角島のドライブ、宮部のジャンプシュートなどで得点を伸ばしていく。第4ピリオドに入っても岐阜女子のペースは変わらず。結局岐阜女子が124-48と大差で決勝リーグ1勝目をあげた。岐阜総合は嶋内、馬淵を中心に、関谷の3点シュートなどで追い上げ最後まで健闘した。(後藤知憲)

決勝  
リーグ 高山西 65  $\left[ \begin{array}{l} 7 - 19 \\ 24 - 17 \\ 17 - 9 \\ 17 - 14 \end{array} \right]$  59 県岐阜商 大江裕之・藤浪元明

両チームともハーフマンツーマンでスタート。第1ピリオド、県岐阜商が相手のミス誘って、速攻につなげて小坂井、梶野が確実に点を取っていく。対する高山西は、キャッチミスやファウルトラブルでなかなか波に乗れない。しかし第2ピリオドに入ると、高山西は室谷のウィングからのシュートが決まり、ペースをつかみ始める。バックカットした選手へのパスや、ドライブも決まって、畦地らが得点をあげ、一気に追い上げていく。

第3ピリオドに入ると、高山西は畦地がインサイドで着実にシュートを決め、ついに逆転に成功する。さらに第4ピリオドに入っても、畦地が次々にシュートを決め、虎井の3点シュートも決まり、得点を伸ばし、高山西が粘る県岐阜商を振り切って決勝リーグ1勝目をあげた。県岐阜商も小坂井、前田のシュートや、佐野の3点シュートで反撃するも、相手の堅い守りに阻まれた。(田中友恵)